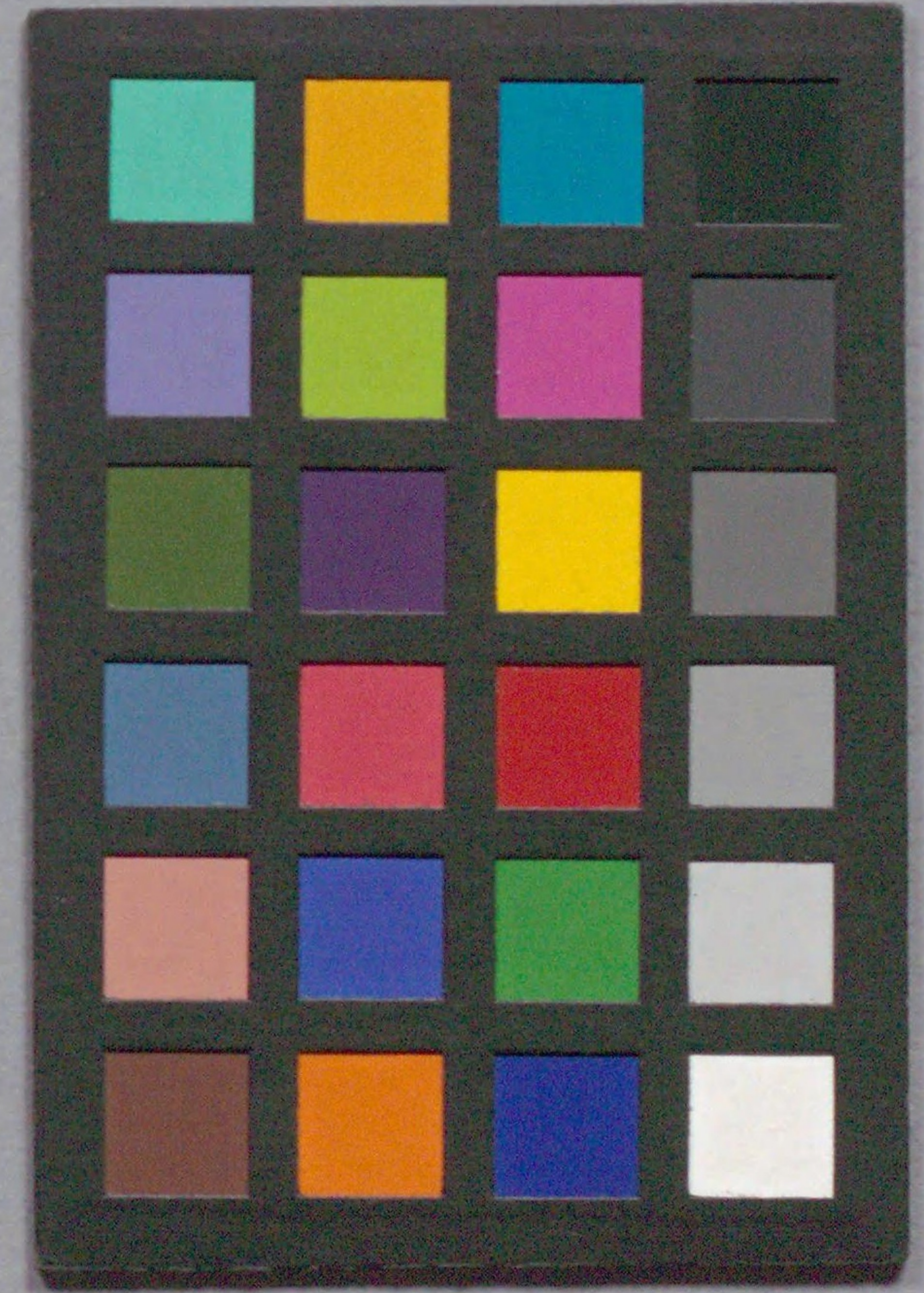
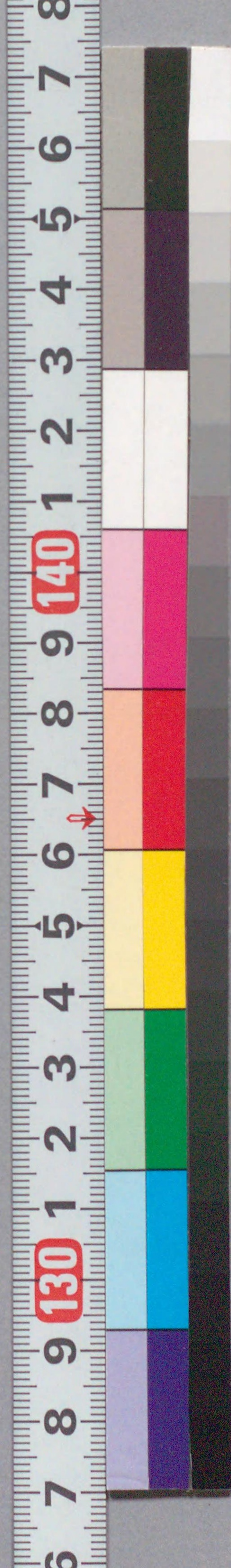


国立国会図書館 何か糊琥珀の塵：3巻 207-226

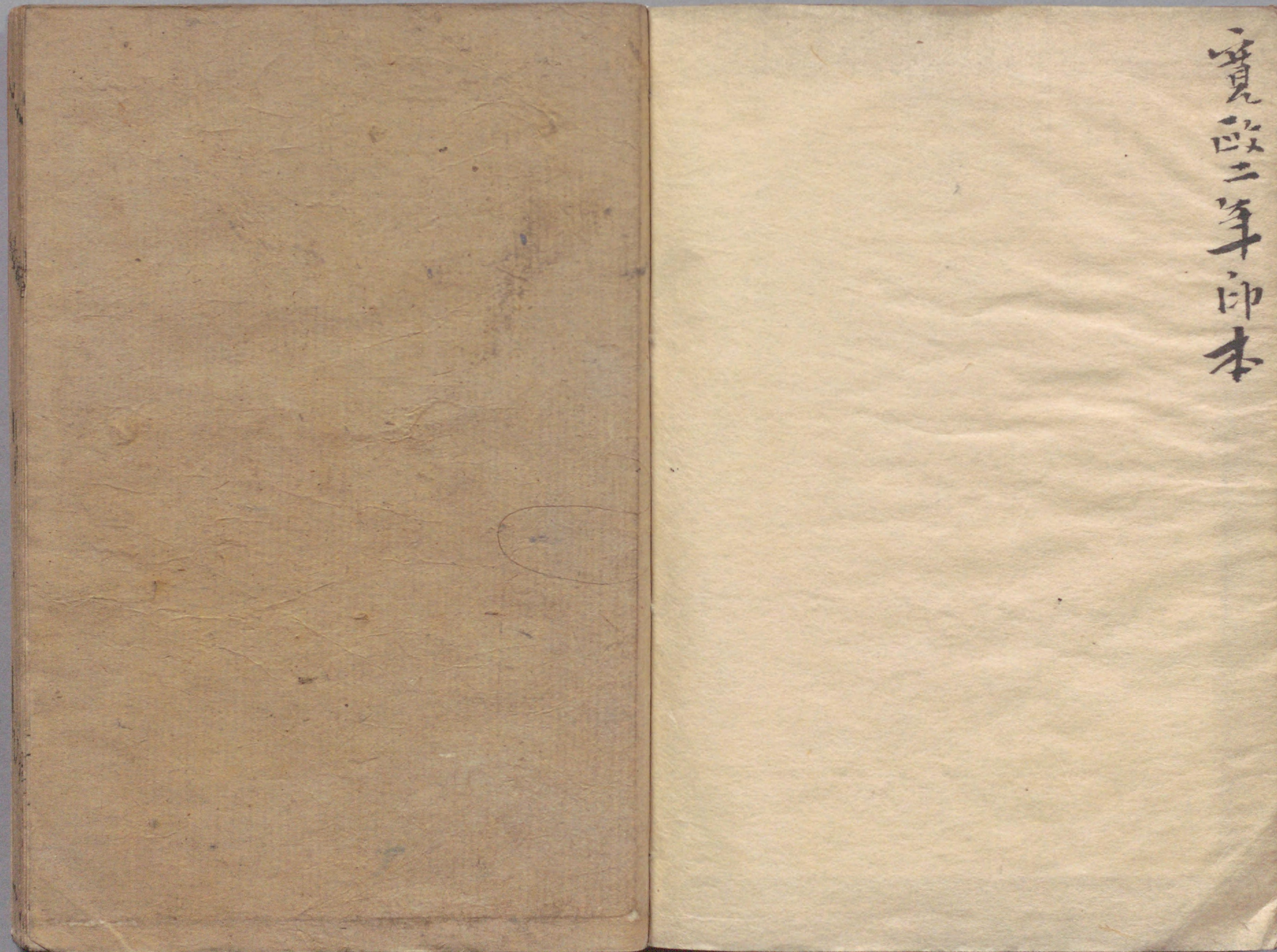
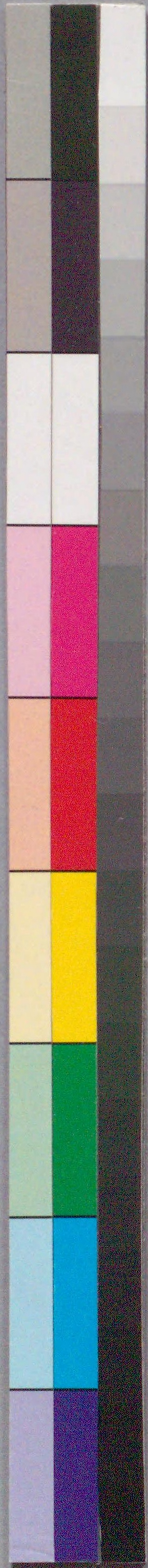
207  
226

何か  
糊  
琥珀  
の  
塵  
  
有面比  
政美画



ガラス使用





寛政二年印本

国立国会図書館 何か糊琥珀の塵：3巻 207-226

ガラス使用







序

歳々繁榮を著し、このい批類の造物も

華び雲小中に有り、合いりい免のつま

かまさいり、器の底を顯し、誇の木を、

指物工、彼の訂有り、磁石乃向小鐵の山も

象、見る、夏あさ、に塵を、吸ふ、珠の

意味、割ても、証形、一、拵、が、つ、め、車、は、余、り

業、の、福、有、る、契、中、の、丹、物、の、本、を、

戌初春

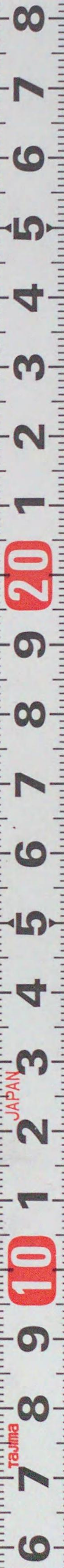
戲作 有面



























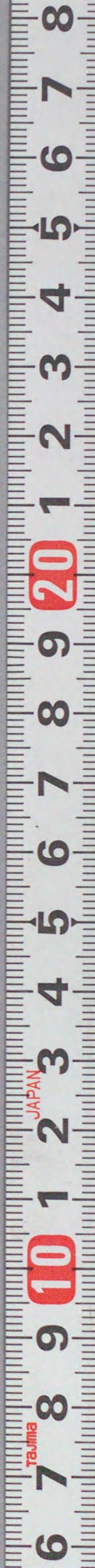




























あつちの  
いさかじ  
さあや  
きりかた  
けいん  
おれ  
ちぢい  
やね

あつちの  
いさかじ  
さあや  
きりかた  
けいん  
おれ  
ちぢい  
やね



あつちの  
いさかじ  
さあや  
きりかた  
けいん  
おれ  
ちぢい  
やね

あつちの  
いさかじ  
さあや  
きりかた  
けいん  
おれ  
ちぢい  
やね





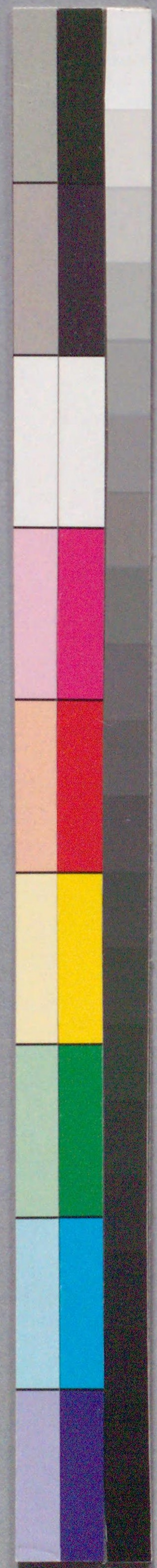




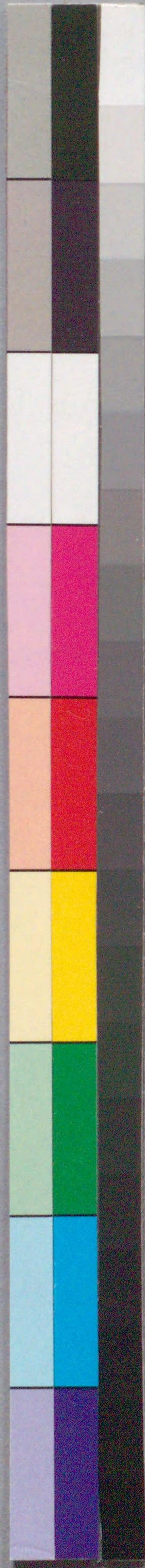
207  
226

国立国会図書館 何か糊琥珀の塵 : 3巻 207-226

ガラス使用







国立国会図書館 何か糊琥珀の塵：3巻 207-226



ガラス使用

